

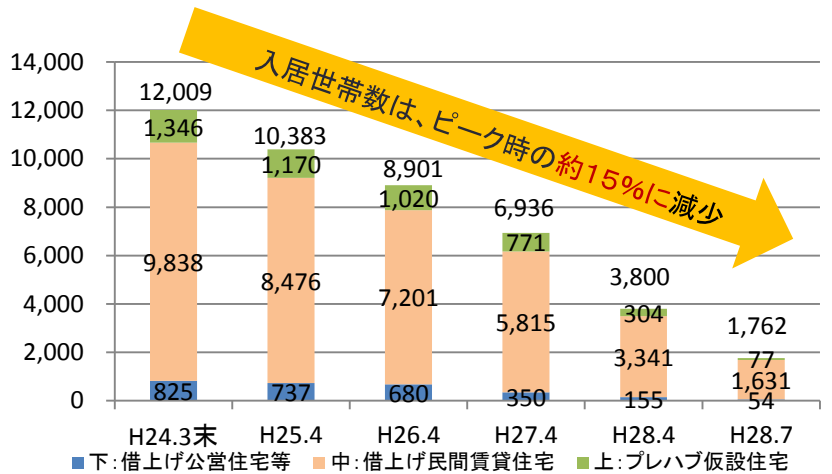
仮設住宅入居世帯の生活再建については、戸別訪問等により世帯ごとの状況や課題を把握し、平成26年3月に策定した生活再建推進プログラム（平成27年3月～生活再建加速プログラム）に沿って支援してまいりました。本市で被災された方の仮設住宅供与は原則5年であり、平成29年3月末までには供与が終了します。現在はこうした供与終了を迎える世帯を中心に、住まいの再建を確実に果たしていただけますよう、個別支援を強化しています。

入居世帯の推移

仙台市内の応急仮設住宅には、平成24年3月末のピーク時において約1万2千世帯が入居されていましたが、住まいと暮らしの再建が進んできたことにより、現在はピーク時の約15%にまで減少しています。

なお、ピーク時に仮設住宅の約82%を占めていた借上げ民間賃貸住宅(*)は、平成28年7月現在では約93%を占めるまでに至っています。

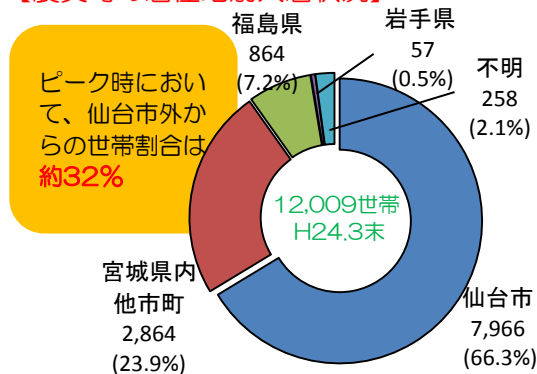
※ 既存の住宅ストックを大量活用した初めての事例



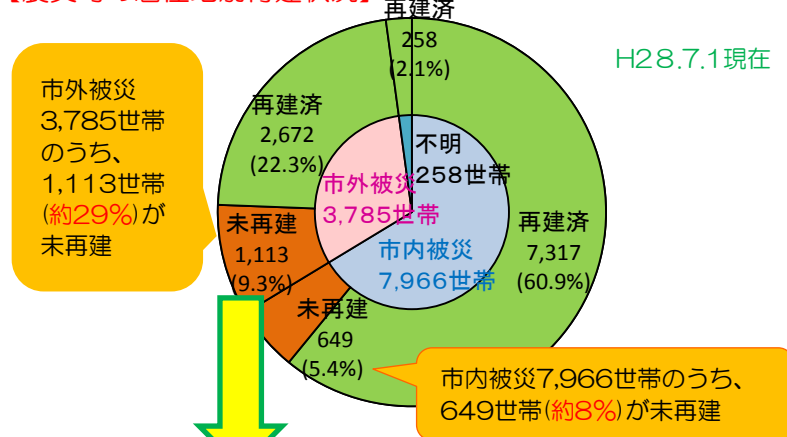
震災時の居住地と住まいの再建

東北に広く被害をもたらした今回の震災では避難も広域的に行われ、現在、市内の仮設住宅入居世帯の約63%は市外で被災された世帯です。市外で被災された世帯は、市内で被災された世帯に比べ住まいの再建が遅れる傾向にありますが、引き続き被災元自治体と連携しながらきめ細かな支援を行ってまいります。

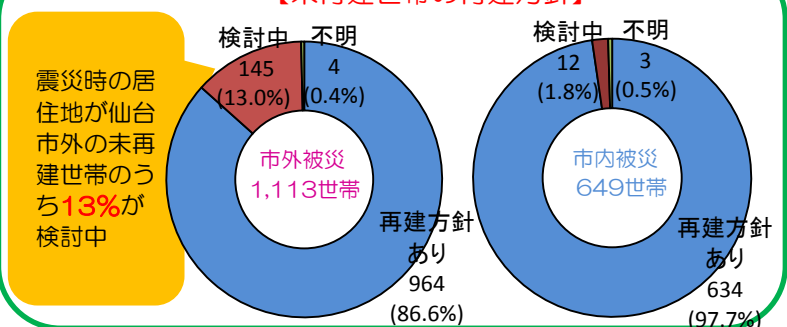
【震災時の居住地別入居状況】



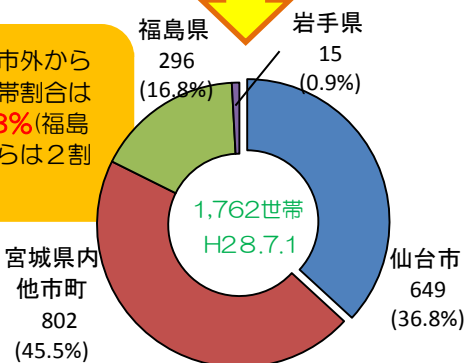
【震災時の居住地別再建状況】



【未再建世帯の再建方針】

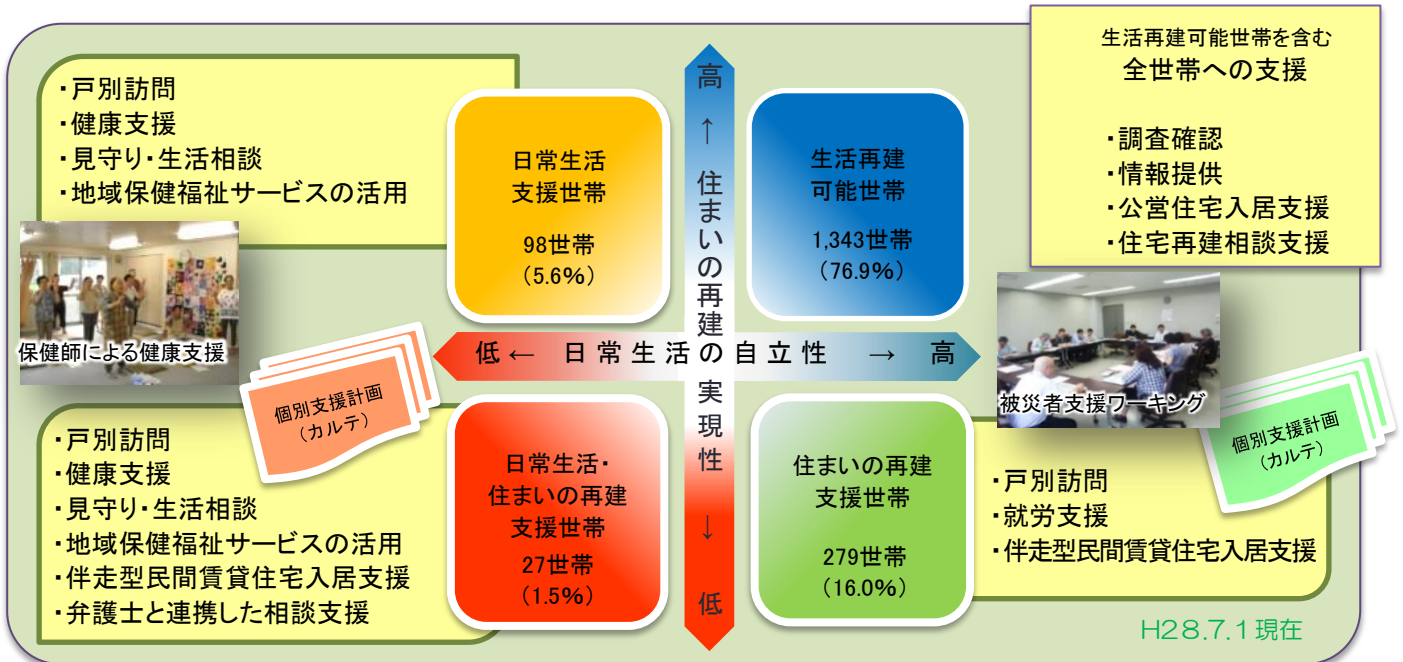


仙台市外からの世帯割合は約63% (福島県からは2割弱)



入居世帯への支援

新たな生活の場へ供与期間内に確実に移行できるよう、課題を抱える世帯に対する移行支援策の充実・強化に加え、未だ接触できない世帯への対応や、本市で被災し市外の仮設住宅に入居されている世帯への支援にも取り組んでいます。



接触できない市外の仮設住宅入居世帯 15世帯

戸別訪問調査
情報提供や相談支援
居住実態のない世帯への退去勧奨等

市内で被災した市外の仮設住宅入居世帯 147世帯

情報提供や相談支援 (県内) 避難先市町村との連携 (県外) 交流会等での面談等

六郷復興公営住宅が完成しました

6月30日に六郷復興公営住宅が完成しました。これにより復興公営住宅3,206戸の整備がすべて完了しました。

六郷復興公営住宅は、六郷中学校の東側に隣接する2棟50戸の集合住宅で、世帯人数に応じて2Kから4DKまで4種類の住戸タイプがあります。

また、駐車区画は全戸分を確保し、1棟には入居者の交流拠点として集会室を併設しています。

6月28日には入居説明会を開催し、7月15日の鍵引渡し以降、順次、入居が始まっています。

【建物の概要】

構造・階数：鉄筋コンクリート造3階建て

戸数：1棟23戸、2棟27戸

住戸タイプ：2K・3K・4K・4DK

エレベーター：各棟1基（11人乗り）

駐車区画数：50区画

南東側からの外観



入居説明会(若林区文化センター)



整備戸数の経過

平成24年度	12戸
平成25年度	564戸
平成26年度	1,397戸
平成27年度	1,183戸
平成28年度	50戸
合計	3,206戸